

ニセコ町観光振興計画改訂ワーキンググループ
検討経過

1. ワーキンググループ 構成員

- ・片岡 直人
- ・加藤 淳
- ・木下 裕三
- ・関 規明

2. 検討経過

9月20日（木） 18：30～20：00

出席：片岡、加藤、木下、関、事務局（山本、小椋）

○目標設定について

- ・山の客が市街地に下りてくるのが大事
→独自アンケート調査？
- ・観光客数のみならず、「観光客満足度」、「観光消費額」も大事

○ニセコブランドとは何か、ニセコが大切にしている価値は何か

- ・スキー場におけるコース外滑走
- ・ニセコのような林間コースは諸外国にない。
- ・退職者が家を建てているのが多い。リタイヤ後に住みよい町はニセコだけでは。
- ・若者の移住も多い。移住したくなる所。
- ・ライフスタイルが見せられる施策があると良い。
→「住みたくなる所」、「住んで良し」の発信
→「こういう理由で住んだ」「こういうことをして住んでいる」という話
- ・ペンションはペンションの呼称を止めて、「〇〇さん家」にして、宿泊ではなくて、「ホームステイ」という位置づけとしてはどうか
- ・アワガラスの客は皆、佐藤さんのブログを見て来ている。
→個人の魅力が大事？

10月1日（月） 18：30～20：00

出席：木下、関、事務局（山本、小椋）

○ニセコブランドとは何か、ニセコが大切にしている価値は何か

- ・「移住」、「ロングステイ」という言葉は、他の言葉にならないか。何か違う言葉があると良い。
→「生涯リゾート」？

○人材育成・交流

- ・観光客が狩太神社祭に出られるようにしてはどうか（例：奴、子供奴）
- ・事業者は、地元の人にまず知ってもらうのが大事（例：地元割引）。
- ・地元の人々の口コミが観光客にとって一番影響力がある。
- ・山と街との交流が必要。交流の中で観光客への説明能力が育まれる。